



京都ケアラーネット発足イベント

# みんなでつくろう「ケアラー支援条例」

## — 条例化運動の意義と目的 —

ケアを必要とする人への制度は拡充してきていますが、その隣にいるケアを担う人（ケアラー）への支援はまだはじまったばかりです。これまで、9地方自治体でケアラー支援条例が制定されました。私たちは、あらゆる世代、そして多様なケアを担うケアラー同士をつなぐ、全国で初めてのネットワーク、「京都ケアラーネット」を立ち上げました。コロナと戦争によって、あたらめて、人間の命とそれを支えるケアという営みの重要性が問われています。私たちは、ケアラーのネットワーク化を進め、ケアラー相互が学びあいながら、ケアを要する人、ケアラーおよび家族を支えるために必要な社会課題を明らかにする活動を行い、市民主導によるケアラー支援条例の制定、ひいてはケアを大事にする社会の推進を目指します。

**2022年5月22日（日）13時～15時半** キャンパスプラザ京都

会場(30名)+オンライン(70名) 参加費無料

第Ⅰ部 基調講演：**堀越栄子さん**（日本ケアラー連盟代表理事）

**「ケアラー支援の条例化の動向と意義及び期待」**

第Ⅱ部 パネルディスカッション 各ケアラー団体による条例化への要望

申し込み締切：**5月15日（日）**

氏名・所属・連絡先（メールか電話番号）のほかに、対面かオンライン、いずれかの参加形態を明記してください。オンライン参加の方は受付した後、zoomのリンクを送ります。

主催：「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」（京都ケアラーネット）

共催：立命館大学人間科学研究所男性介護研究会

申し込み・問い合わせ先（京都ケアラーネット事務局）

メール：[carerkyotoactionnet@gmail.com](mailto:carerkyotoactionnet@gmail.com)

FAX：075-466-3306（男性介護ネット事務局気付）



# 「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」(略称:京都ケアラーネット)

## 参加のお願い

2020年3月に制定された「埼玉県ケアラー支援条例」をはじめ、これまで、9地方自治体でケアラー支援条例が制定されました(2022年4月1日現在)。また、ヤングケアラーの全国調査では、小学生の6.5%、中学生の5.7%、高校生の4.1%がヤングケアラーであり、その7割が「誰にも相談したことがない」実態があることがわかりました。ヤングケアラーという言葉に注目が集まることで、介護だけではなく、精神疾患をかかえる家族へのケア、しょうがいのあるきょうだいへのケア、不登校やひきこもる人と家族へのケア、日本語を第一言語としない家族へのケアなど、じつに多様なケアがあることが明らかになりました。

「ケア」は、私たちが生まれてから死ぬまで、必要不可欠でかけがえのない営みですが、今の日本社会では、そのほとんどを家族が担っています。ケアラーになることは、自分の体・時間・感情を誰かのために差し出すことであり、そのほかの生活(学業・仕事・余暇)にも影響をおよぼします。したがって、支援を必要とする人だけでなく、ケアラーにも、自分が望む人生を生きるための配慮や支援が必要です。

ケアラー支援への社会的理解と具体的な支援を広げるために、ケアラー支援条例は大きな役割を果たすと考えます。私たちは、子ども・若者ケアラー、親ケアラー、働くケアラー、ダブルケアラーなど、多様な要ケア児者とケアラーを含む全ての当事者の声を広く知ってもらうことを通じて、ボトムアップ(市民活動)で条例を制定し、具体的な施策の実施を推進することが、ケアを家族だけの責任にせず、社会全体でささえるしくみと地域文化・関係づくりにとって重要な過程であると考えます。

ケアラーの声を聞くことを何よりも大事にして、市民参画によるケアラー支援条例を広げるために、私たちは、「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」(略称:京都ケアラーネット)を立ち上げることにしました(2022年4月1日発足)。

この活動は、これまで京都でケアにかかわる活動や経験を有している個人・団体の緩やかなネットワークの場です。当面、①京都でのケアラー支援の条例化を目指して活動すること、②3年をめどとする期限付きの活動とすること、とします。多くのケアラー当事者団体、ケアラー支援団体にかかわる人たちに参加していただき、市民参画でのケアラー支援条例の制定を目指します。多くの方々の参加をお待ちしております。

### 【共同代表:50音順】2022年4月19日現在

- 池添 素(京都障害児者の生活と権利を守る連絡会事務局長)
- 小國 英夫(マイケアプラン研究会代表)
- 大手 理絵(京都YWCA APTメンバー)
- 奥村 弘(男性介護者を支援する会 TOMO 代表)
- 河西 優子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト YCARP 発起人)
- 梶 宏(きょうと介護保険にかかわる会 理事長)
- 斎藤 真緒(子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト発起人)
- 櫻庭 葉子(京都ヘルパーネット連絡会事務局長)
- 鈴木 森夫(認知症の人と家族の会代表理事)
- 田島 英二(医療的ケアネット副理事長)
- 田村 権一(元息子ケアラー・よりよい介護をつくる市民ネットワーク)
- 津止 正敏(男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)
- 中川 慶子(きょうと介護保険にかかわる会 副理事長)
- 萩本 良子(京都ヘルパーネット連絡会事務局次長)
- 藤本 文朗(東山区不登校と引きこもりを考える親の会世話人)
- 森田 英子(高齢社会をよくする女性の会・京都代表)

【事務局(斎藤・大手)・連絡先】 Mail: [carerkyotoactionnet@gmail.com](mailto:carerkyotoactionnet@gmail.com)

★京都ケアラーネットに賛同者として参加します。賛同者の名簿掲載を許可します。

氏名 : \_\_\_\_\_ 所属 : \_\_\_\_\_ 住所・連絡先 : \_\_\_\_\_ Mail : \_\_\_\_\_